

Global Education Network for Sustainable Future Hiroshima (GENS)

～ グローバルな視野とローカルな視点からの学び ～

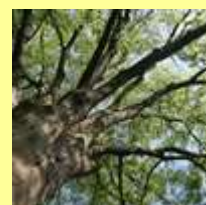
Newsletter No.7
2015.9.5.

地球市民共育塾ひろしま
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
URL <http://genshiroshima.web.fc2.com/>
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
地球市民共育塾ひろしま
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
地球市民共育塾ひろしま

地球市民共育塾ひろしま



Have a Dream...
Do the Action!
for
the Better Future



世界中の人々が一人ひとりで幸せに生きられる。そんな社会を願う人々の「出会い」と「学び」と「行動」の場です。「貧困」「難民」「食」「平和」「ジェンダー」「教育」。取り扱うテーマも十人十色。「開発教育」に関心のある人なら、だれでも参加できます。参加型の学習会を定期的に行っています。

～ あなたも地球市民共育塾ひろしまで一緒に学びませんか？ ～



「地球市民共育塾ひろしま」設立 10 周年

広島の開発教育の普及は、1992年に当時の牛田教会の荒川純太郎氏が、南北問題「開発教育」実験教室を立ち上げ(翌年「広島開発教育研究会」と改称)、参加型体験学習の学習会を定期的開催したことが端緒となりました。その後、この系譜の中から、「地球市民共育塾ひろしま」などのいくつかの開発教育の実践団体が生まれました。そして、2005年5月に、開発教育やESD(持続可能な開発のための教育)の学び合いを目的として「地球市民共育塾ひろしま」が設立されました。本年2015年は、「地球市民共育塾ひろしま」設立10周年の節目の年となりました。この間に、「広島開発教育研究会」や「地球市民共育塾ひろしま」などの開発教育の活動に参加した人の中から、その後、国際協力の現場や、様々なNGOや市民活動の担い手として活躍するなどの多くの人材を輩出してきています。

「地球市民共育塾ひろしま」は、今後も広島の地で、「共に生きることのできる公正な地球社会づくりに参加する」ことをめざして活動を続けていきます。みなさまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新教材集完成

地球市民共育塾ひろしまでは、2015年3月、共育塾2冊目のオリジナル参加型教材集『参加型で学ぶ「広島と多文化共生」』を刊行しました。

「参加型で学ぶ「広島と多文化共生」」

この教材集は、平成26年度県立広島大学重点研究事業(地域課題解決研究)「参加型の新しい開発教育教材の普及と開発～広島地域課題に根ざしたESDの取組～」の研究成果報告書として制作されたものです。

開発教育やESDの普及・啓発の活動に取り組んでいる「地球市民共育塾ひろしま」では、平成22年度から県立広島大学富田研究室との共同研究により「広島発」の参加型のオリジナル教材づくりの取り組みを進めてきました。

平成23年度には、県立広島大学重点研究事業の共同研究の指定をいただいで、「参加型の新しい平和教育教材の開発～広島地域課題に根ざしたESDの取組～」を研究のテーマとして、新しい参加型の平和学習の教材づくりに取り組み、教材集『参加型で学ぶ「広島」「ヒロシマ」「Hiroshima」』を刊行しました。

続いて平成25年度からは「多文化共生」をテーマとした参加型教材開発の取り組みをはじめました。県立広島大学から、「参加型の新しい開発教育教材の普及と開発～広島地域課題に根ざしたESDの取組～」を研究テーマとした重点研究事業をいただき、「多文化共生」の内容に関わる教材づくりに向けた学習会を継続しました。実際に広島で活躍されている多文化共生マネージャーの方からの聞き取り、中国帰国者をはじめ多国籍の生徒さんたちの在籍している夜間中学校の関係者からの聞き取りなどの学習会を重ねました。その成果を研究報告書『広島の開発教育・ESD』にまとめました。

そして平成26年度は、これまでの学習会の成果をふまえて教材化を図り、教材の試案を検討し、試行ワークショップを開催して教材としての妥当性を検討するとうプロセスを経て、ようやくこのような教材集の形にまとめることができました。

教材集作成にあたって取材等でご協力をいただいた皆様、重点研究事業の指定をいただいた県立広島大学の皆様方にあらためまして感謝申し上げます。

■教材

「国語」ってなんだろう？
日本語ってやさしい？
フェルナンドさんがやってきた！
中国帰国者を知っていますか？
郷に入っては郷に従え
食文化の共生
多文化共生スタディツアー
同じ？違う？私の平和～被爆樹木と共に

■コラム

[海外の学校で、活動したい]
[多文化共生について考える]
[ブルキナファソでのものづくり]
[日本史の中の「多民族」混淆と「多文化」共生]



ワークショップ

ヒロシマをめぐるコンフリクト

7月18・19日、広島アステールプラザにおいて「日本平和学会2015年度春季研究大会」が開催されましたが、その大会二日目のプログラムの中で、市民参加の企画「ワークショップ ヒロシマをめぐるコンフリクト」が行われました。

広島での「ヒロシマ」や「平和」に対する世代間や、知識、「期待」の差などの、いろいろなコンフリクトを扱い、参加者同士の想いを共有できる場にすることが目的ということで、地球市民共育塾ひろしまもこの企画に賛同し、後援団体の一つとしてワークショップに参加しました。

ワークショップのファシリテーターは、この企画の担当者でもある平和教育プロジェクト委員会の奥本京子さん(大阪女学院大学)、表現アーティストの笠井綾さん、『ポーポキ、平和ってなに色?』でも知られるロニー・アレキサンダーさん(神戸大学)の3人。

内容は、ヒロシマと自分との距離を毛糸の長さで表現したり、「人間彫刻」と題して、参加者がグループになってそれぞれがイメージする葛藤場面を、身体を使って表現するなど、普段、あまり意識して使っていないような体の感覚を使ったワークショップが中心で、とても新鮮でした。

アート系のワークショップづくりには、今後の大きな可能性を感じた一日でした。

日本平和学会二〇一五年度春季研究大会
敗戦後七〇年の地点で平和を再定位する
ヒロシマで考えるアジア太平洋平和秩序への道筋
日時 平成二十七年七月十八日(土)十九日(日)
主催 日本平和学会 / 開催校 広島市立大学



RCCラジオで参加型平和教材を紹介!

8月7日、RCCラジオで月一回放送されている「勝手にトークひろしま」の第55回の放送「誰か平和を教えてください」に、地球市民共育塾ひろしま事務局の中須賀が、ゲストとして出演しました。

今回は「誰か平和を教えてください!!」というテーマで、「被爆体験の継承」や、こらからの平和教育の在り方、若い世代にバトンをつなぐ際に「いかに自分のこととして感じられるか」、「どこまで想像を膨らませて被爆者の心に寄り添えるか」ということの大切さなどが話されました。

地球市民共育塾ひろしま事務局の代表として参加した中須賀からは、共育塾の教材集『参加型で学ぶ「広島」「ヒロシマ」「Hiroshima」』の中の「きのこ雲って、ななに」のさわりの部分を他のゲスト出演者の方に体験してもらおうという短時間のワークを行いました。なにしろ映像のないラジオ番組なので、ラジオ聴取者の皆さんにどの程度、伝わったかなあとたいへん不安でしたが、後で、ラジオを聞いていただいた方から、「わかりやすかったよ」という感想をもらい、とりあえず大役を果たせてほっとしました。

司会の平尾順平さん、キムラミチタさん、出演者の日上雅義さん、堀江清二さん、玉城ちはるさん、表優希さん、お世話になりました。ありがとうございました。

広島を楽しく魅力的な街にしていけるための
月に一度の熱いディスカッション。

勝手にトーク
ひろしま!



「地球市民共育塾ひろしま」のご案内



Global Education Network for Sustainable Future Hiroshima (GENS)

■「地球市民共育塾ひろしま」(略称・共育塾)とは

Have a Dream. Do the Action! for the Better Future.

「貧困」「難民」「食」「平和」「ジェンダー」「教育」…。取り扱うテーマも十人十色。世界の人々が一人ひとり幸せに生きられる。「地球市民共育塾ひろしま」は、そんな社会を願う人々の「出会い」と「学び」と「行動」の場です。

地球市民共育塾ひろしまは、開発教育やESD(持続可能な開発のための教育)の学び合いを目的とした市民のグループとして、2005年5月に、学生中心の団体であった旧「地球市民共育塾ひがしひろしま」を改組して、「地球市民共育塾ひろしま」として設立、今日に至っています。



■開発教育とは

世界でおこっている貧困・飢餓、紛争・戦争、環境破壊、人権侵害といった問題は、日本の社会のあり方や私たちのライフスタイルとも深く関係しています。また日本にも同様の問題が存在しています。開発教育は、私たちひとりひとりが、このような世界のさまざまな問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、共に生きることのできる公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。開発教育では、学習者が自ら答えを見出していくプロセスを重要視し、そのためロールプレイ、ディベート、ランキング、フォト・ランゲージ、シミュレーションなどのようなワークショップ(参加型学習)と呼ばれる手法を用いています。



■参加型の教材開発

共育塾では、2010年度から、地域の課題に対応した広島発のあたらしい参加型教材プログラムを開発する取り組みを行ってきました。その成果として、2012年3月に『参加型で学ぶ「広島」「ヒロシマ」「Hiroshima」』、2015年3月には『参加型で学ぶ「広島と多文化共生」』の2冊の教材集を発刊することができました。この教材集は、関係機関や開発教育やESDの実践者の皆様に寄贈させていただいております。



■みなさんも参加してみませんか

共育塾では、教材づくり以外にも、連続講座の実施、「広島市まちづくり市民交流フェスタ」へのワークショップ企画参加、「広島市国際交流・協力の日」へのブース出展、他団体との協働事業などや、セミナー等への講師派遣なども行っています。また、共育塾ではメーリングリスト会員制度もあり、教職員、会社員、国際協力関係者、NGOや地域活動関係者、研究者、大学生・院生など多様なジャンルの方々100人以上に登録していただき、情報交換を行っています。

ご関心のある皆さまのご参加をお待ちしております。



■役員 代表：荒川純太郎(共生庵・地球市民共育塾共同主宰)

事務局代表：中須賀裕幸・服部淳子

教材づくり代表：富田和広・岡田祐一

■刊行物

- ・『地球市民共育塾ひろしま年次報告』(No.1～No.5)。
- ・『中国地区開発教育担い手連携・スキルアップ連続講座報告書』。
- ・教材集『参加型で学ぶ「広島」「ヒロシマ」「Hiroshima」』
- ・研究成果報告書『広島の開発教育・ESD』
- ・教材集『参加型で学ぶ「広島と多文化共生」』

■ホームページ URL <http://genshiroshima.web.fc2.com/>

■メール：kyoikujuku.hiroshima@gmail.com

■問い合わせ先：〒730-0036 広島市中区袋町6番36号

広島市まちづくり市民交流プラザ内 メールボックスNo.7

